

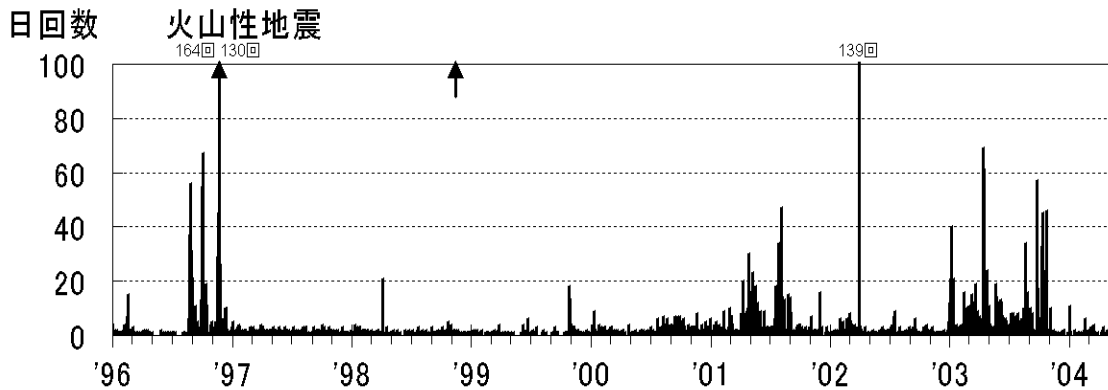
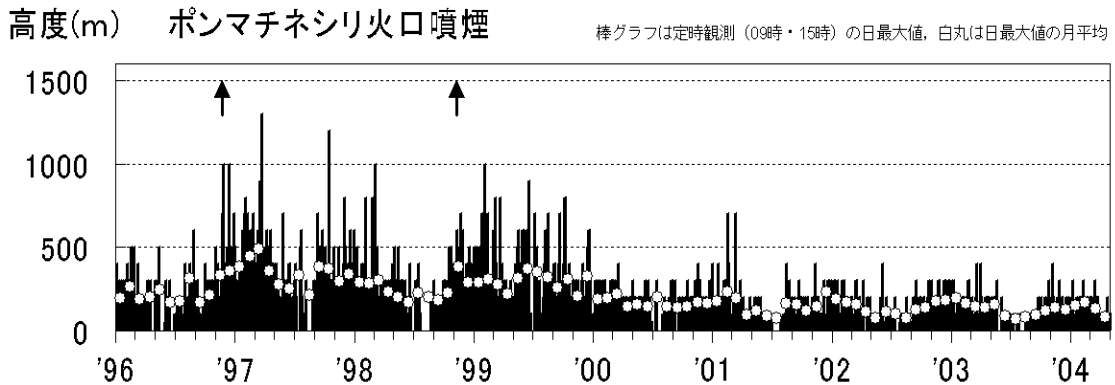
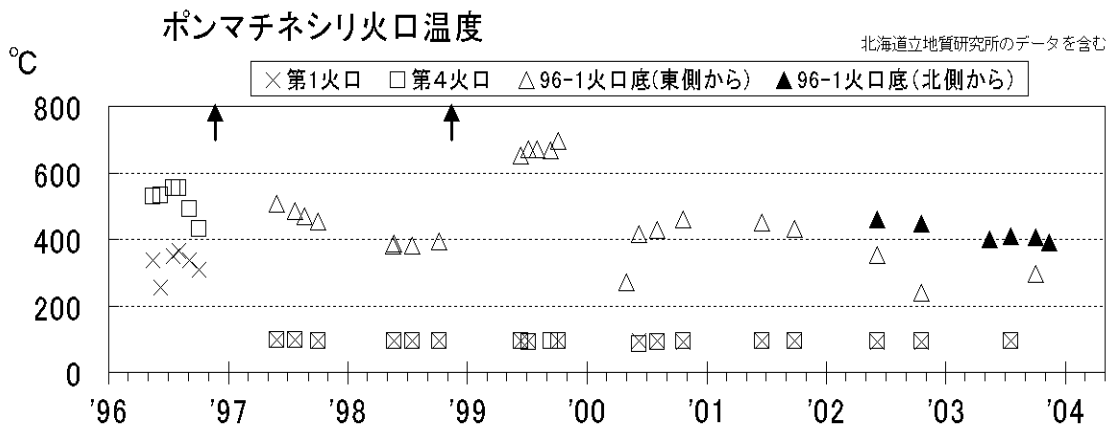
雌阿寒岳

1 概況

火山活動はやや活発な状態が続いています。
 ポンマチネシリ 96-1 火口ではこれまでと同様高温の状態が続いていると推定されます。
 噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

2 噴煙の状況

今期間のポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m前後で推移しました。噴煙の高さや噴出の勢いは 2000 年以降やや低下した状態が続いていますが、火口温度は依然として高温状態が続いていると推定されます。



最近の火山活動経過図(1996年1月1日~2004年4月30日) 印は噴火

3 地震の発生状況

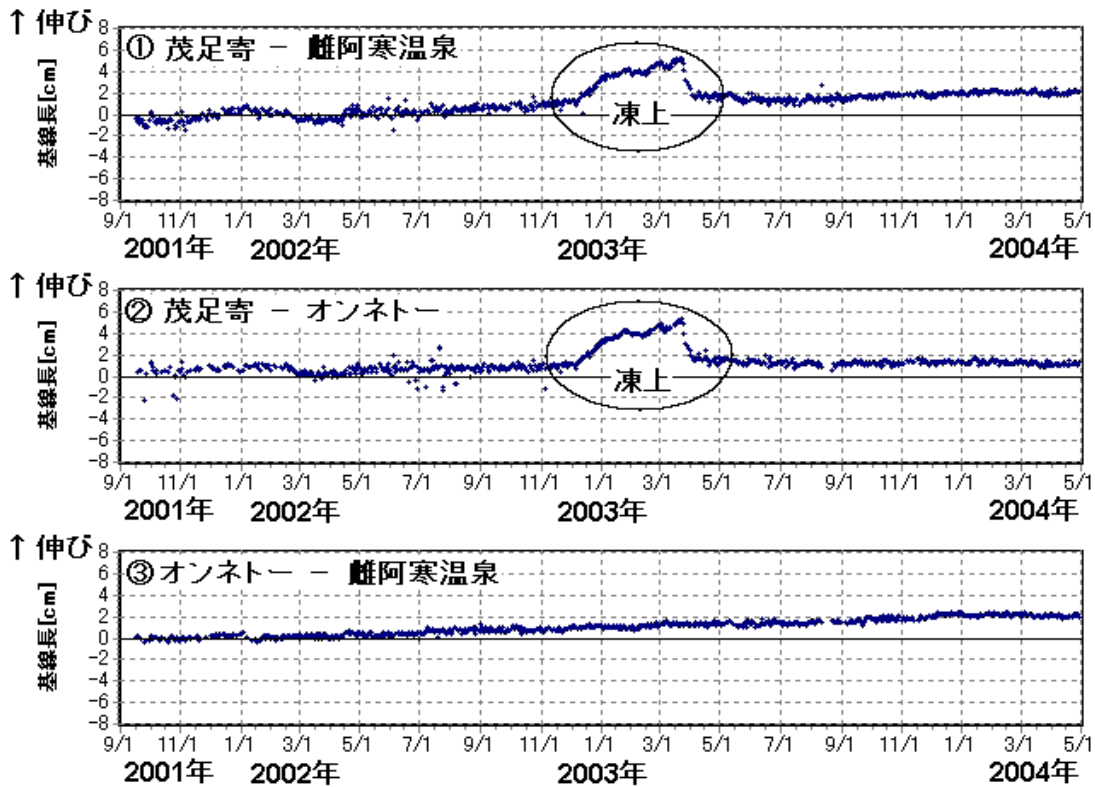
今期間の火山性地震の回数は1日あたり0~3回で、昨年11月以降少ない状態が続いています。火山性微動は昨年1月以降観測されていません。

地震・微動の月回数(B点)

2003~2004年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数	163	155	113	195	156	352	19	12	19	20	17	15
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

西麓でのGPS連続観測では、やや伸びの傾向を示す変動が認められていますが、火山活動との関連については今後の推移を見て判断する必要があります。



基線長変化(2001年9月19日~2004年4月30日)

